

## 小田原市教育委員会定例会会議録

- 1 日時 平成27年6月25日(木)午後7時00分～午後7時28分  
場所 小田原市役所 601会議室

### 2 出席した教育委員の氏名

- 1番委員 吉田 眞理  
2番委員 栢 沼 行 雄 (教育長)  
3番委員 萩 原 美由紀 (教育委員長職務代理者)  
4番委員 和 田 重 宏 (教育委員長)  
5番委員 山 口 潤

### 3 説明等のため出席した教育委員会職員の氏名

- 教育部長 内 田 里 美  
文化部長 諸 星 正 美  
教育部副部長 露 木 幹 也  
教育部管理監 松 本 弘 二  
文化部副部長 安 藤 圭 太  
文化部副部長 杉 崎 貴 代  
教育総務課長 柏 木 敏 幸  
教育指導課長 市 川 嘉 裕  
指導・相談担当課長 石 井 美佐子  
文化財課長 大 島 慎 一  
教育指導課指導主事 川 口 宏 美

(事務局)

- 教育総務課総務係長 高 瀬 聖  
教育総務課主査 小 林 隆

### 4 報告事項

- (1) 小田原城天守模型等の調査研究報告(最終報告)について (文化財課)

### 5 議事日程

- 日程第1 議案第23号 小田原市就学指導委員会委員の委嘱について (教育指導課)

### 6 議事等の概要

- (1) 委員長開会宣言

- (2) 5月定例会会議録の承認…栢沼委員報告
- (3) 会議録署名委員の決定…萩原委員、山口委員に決定
- (4) 報告事項 (1) 小田原城天守模型等の調査研究報告(最終報告)について(文化財課文化財課長…それでは、私から報告事項(1)「小田原城天守模型等の調査研究報告(最終報告)について」をご説明申し上げます。お手元の資料1を御覧ください。

小田原城天守閣模型等の詳細調査につきましては、それぞれの資料の価値を明確にするとともに、江戸時代に存在した小田原城天守の実像を検証することを目的といたしまして、調査・研究を行って参りましたもので、平成25・26年度の2ヶ年にわたり実施しております。このうち、平成25年度の成果につきましては、平成26年8月22日開催の議会厚生文教常任委員会において中間報告という形で報告いたしました。またその後、平成26年度分も含めた成果の概要につきましては、市民の皆様を対象に、平成26年12月20日「小田原城天守模型等調査報告会～小田原城天守模型等の調査で何がわかったか」という催しにおいて報告しております。以上の経過を経て、最終報告として、報告書がまとまり、平成27年6月15日に議会厚生文教常任委員会にその概要を報告いたしましたので、教育委員会定例会においても御報告するものです。

調査の委託先は、資料1の中の1をご覧いただきたいのですが、ここにございますように学校法人 神奈川大学であります。実務的な調査研究は、神奈川大学名誉教授 西和夫博士の研究チームが当たられております。西先生は、昭和35年に完成いたしました現在の小田原城天守閣の設計を担当した藤岡通夫博士のお弟子さんであり、建造物としての天守に造詣が深いばかりでなく、建築史の専門家として大変御高名な方です。近年では、小田原城天守閣耐震改修等検討委員会委員も務められました。ただ残念なことに、西先生におかれましては、この調査が終了する間際の平成27年1月に御逝去されました。その数多くの業績のひとつとして、この調査研究報告書をお遺しいただきましたことに対しまして、心から感謝している次第です。改めて御冥福をお祈りしたいと思います。

続きまして、「3主な調査成果の概要」を御覧下さい。(1)の小田原城天守模型3基の比較検討でございますが、天守閣に展示中の「大久保神社蔵」、「旧東京大学蔵」とされている模型のほか、もう1基、神奈川県立歴史博物館に展示中の「東京国立博物館蔵」(以下、「東博」といいます。)の模型を加えまして、江戸時代に作られた小田原城の天守模型3基について調査を行いました。ここで、お手元にお配りしております報告書のコピーのうち、重要な部分を抜き刷りで配布してございますが、その12ページをお開き下さい。上から「大久保神社蔵」、続いて「旧東京大学蔵」の模型。これらが現在、小田原城天守閣で展示しているものでございます。そして、一番下の写真が「東京国立博物館蔵」の模型で、現在、神奈川県立歴史博物館に貸与され、常設展示されているものです。これらを調査いたしました結果、3基の模型が江戸時代のどの時期に作

られたものかを確定する根拠は得られなかったものの、大久保神社模型と東博模型は類似する点が非常に多く、特に東博模型には最上階の4階に摩利支天という仏像を祀る空間が詳細に表現されていることが初めて明らかになりました。その様子は報告書コピーの22ページ左下の写真で御覧になれます。このように作られております。この発見によって、天守閣に展示されている大久保神社模型にも仏像を祀る空間が、実は部分的ながら表現されていたことがわかりました。今ご覧いただきました左側の写真の右側の写真が「大久保神社模型」の同じ部分になります。床の上に一段高くあつらえている部分が何か分からなかったのですが、東博模型と比較したことで、同じところが不十分ながら表現していることがわかりました。

これにつきましては「(2) 小田原城天守最上階に祀られた摩利支天像及びその空間の存在について」でやや詳しくご説明いたします。報告書コピーの18ページをお開きいただき、写真を御覧下さい。

小田原城天守最上階に祀られていた摩利支天像は、今も現在の天守閣の最上階にある、三層天守の姿をした厨子の中に安置されています。この摩利支天像は武士の守り本尊といわれ、御天守摩利支天と呼ばれて、人々に尊崇されたといわれております。

この摩利支天像の周りには、大日如来などの像が安置されており、天守七尊と呼ばれておりました。このため、現在経済部観光課で進めている天守閣耐震化工事にその成果を活かし、天守閣の最上階に摩利支天像が祀られていた空間が再現されることになりました。

次に、「(3) 類例天守模型との比較検討について」です。近世に遡る天守模型は小田原城の3基を含め、宇和島城天守模型など、全国で5箇所8基が残されているのが全てであります。これらと小田原城天守模型3基とを比較いたしましたところ、小田原城天守模型は屋根瓦まで表現され、東大模型のような外壁を表現したものは珍しく、大久保神社模型と東博模型のように最上階の摩利支天像を祀る空間のような内部の様子まで表現しているものは他にはなく、模型として優れていることが確認できました。

また、小田原城の天守模型以外は、宇和島城の例を除き高さ方向や柱の太さが強調して表現されていました。これは模型を作る上で今でも採用される一般的な手法ですが、こうした特徴の比較をとおしますと、小田原城天守模型についても、その作られた意図を読み取ることが出来ます。

全体として、これらの模型は、天守造営にあたった大工棟梁が手間や費用、時間をかけて製作したもので、実際に天守を修理する時や再建する時に作ったことが確認されました。

こうした点から、小田原城天守模型についても、再建時に作られたものだと仮定しますと、文書などの様々な記録とあわせ検討した結果、幕末の文久元年(1861)に模型を作り天守の修理を検討した時に、大久保神社模型と東博

模型のいずれか、または両方が作られたものと推測されます。

なお、「(4) 木造復原(復興) 天守の実例調査について」は、白石城をはじめ、木造で復元・復興された3つの天守について実例を調査したものです。

最後に、「4まとめ」を御覧下さい。以上の調査により、小田原城天守模型の重要性が改めて認識されることになりました。なかでも、天守最上階に摩利支天像などが祀られていた空間の存在が明らかになったことは大きな成果といえます。

このため、既に神奈川県重要文化財に指定されている小田原城天守閣の2基の模型に加え、東博模型を含む3基で、改めて文化財的価値の評価を行う必要があると考えております。

今後も引き続き史跡小田原城跡の研究を深めていく中で、天守閣の将来像を考えるために必要となる、天守木造化の実現可能性等も含めた様々な観点での研究を進めていこうと考えております。

以上をもちまして、報告事項(1)「小田原城天守模型等の調査研究報告(最終報告)について」の説明を終わらせていただきます。よろしくごお願い申し上げます。

#### (質 疑)

吉田委員…最終報告書の本編と申しますか、正式な報告書は、どこに行けば、拝見できるのですか。

文化財課長…城内の図書館、かもめ図書館、行政情報センターに配架しております。なるべく多くの方々に見ていただきたいと思うのですが、取りあえず、そこには、配架いたしました。

吉田委員…3冊配架したということですか。とても高価なものなのですか。

文化財課長…豪華本というものでもないのですが、調査しているチームとの契約の中で200部印刷することになっております。なるべく主要な図書館に今後配布してまいりますけれども、どこに優先的に配布するかを見極めながら、やっていきたいと思っております。まだ、予定のことなのですが、今は調査段階の成果を受け取ったという形になっておりますので、できれば、小田原市教育委員会として、きちんと編集したものを刊行できればと考えております。

吉田委員…そうしますと、この調査結果は、全国に少ししかない天守模型の多くが小田原城の物だということで、大変小田原として自慢できるものではないかと思うのですが、調査報告書を全国に配布していく範囲としてはどれくらいを考えているのですか。

文化財課長…今までですと、例えば、埋蔵文化財発掘調査報告書は、全国の主要な図書館で

すとか、研究機関には送付しています。この報告書については、それと少し性格が違って、お城を持っている自治体には、かなり貴重な報告になるものと思われるので、少しそこに重点的を置きつつ、全国に配布したいと考えております。

山口委員…報告書の22ページに東博模型と大久保神社模型との平面図がありますが、右上に方位を示すマークがあるのですが、この模型の東西南北はどうしてわかったのでしょうか。

文化財課長…天守は、平面が長方形の躯体になっておりまして、さらに石落しになるようなところが、少し出っ張っていたりとか、そのようなところを踏まえ、検討していくと、天守が実際に建っている時に摩利支天がこちらに来るということを、割り出すことが出来るのです。

山口委員…今の昭和35年にできた天守の向きと同じような向きになるのですか、それとも、少し違ってくるのでしょうか。

文化財課長…今の天守も天守閣で展示してある二つの天守模型を調査して、建築しておりますので、今の天守も基本的には、それに従ったものになります。ただ、その調査した時には、今、天守閣に飾ってあります東大模型と大久保神社模型で、同じ資料的な重さで復元像を作ったのですね。ですので、今回の調査結果とは、違う理解だったのです。今回の調査によって、どちらかという、本当にあった姿は、天守閣にある大久保神社模型と神奈川県博にある東博模型がより実物に近いと結論になりました。

和田委員長…今、文化財課長の報告にありましたように、研究成果はものすごい価値のある、意義のあるものだと思いますが、今後、最後にお話があったように、今ある天守閣がコンクリート造りではないですか、早く言えば。なかなか文化財的な価値観でいいますと、報告がありました調査研究と比べると、あまりにも、今風という感じがして、やはり歴史的な建造物として将来像としては、やはり、長期的な展望をもって、なるべくこういうふうな、文化財的に近いような、将来的なことですが、そういう展望と言うか、個人の希望でも構いませんので、ご意見ありませんか。

文化財課長…コンクリートの天守についてですが、やはり最近、せつかく、お城の中の天守なのに、なんで木で作らなかったのか、という声も出てきているようなのですが。最近改めて見直されているようなのですが、全国でコンクリートの天守閣を作った時期といいますのは、木造の建造物が戦争で焼かれてしまい、どうしたら、丈夫に長持ちする建物が出るのだろうか意識していた時代に出てきたものなのです。当時としては新しい時代に新しい天守をという流れの中では、決して、過去の事を尊重しなかったわけではないという評価もなされるようになってきています。そうは言いますが、小田原城は国指定史跡でございますので、その中で、歴史的建造物をもう一度作るとなると、なるべく忠実なものであるべきだという文化庁の考え方になります。ですが、それには、

忠実な再現が可能かどうかという問題になってまいりますので、小田原の場合は、当時の写真が残っていないので、非常にその部分の研究が必要だということになります。将来的に、もし、今のコンクリート製の天守閣の役目が終わる時がいずれ来るとして、次にもう一度ということになれば、その方向で努力する必要があるのですが、まだまだ、私どもが研究すべき課題が多いという中で、長い道のりを歩むことになると考えております。

(その他質疑・意見等なし)

和田委員長…以上で、文化部が関連する議題が終了いたしましたので、関係の職員は、ご退席ください。

(文化部職員 退席)

(5) 日程第1 議案第23号 小田原市就学指導委員会委員の委嘱について (教育指導課)  
提案理由説明…教育長、教育指導課長

栢沼教育長…それでは、議案第23号「小田原市就学指導委員会委員の委嘱について」を御説明申し上げます。小田原市就学指導委員会委員につきましては、任期満了に伴う委嘱替えでございます。細部につきましては、所管から御説明申し上げます。

教育指導課長…それでは、議案第23号「小田原市就学指導委員会委員の委嘱について」につきまして、私から細部説明申し上げます。

小田原市就学指導委員会は、小田原市附属機関設置条例に基づき設置されたものでございまして、委員数は25名以内となっております。

この度、小田原市就学指導委員会規則第3条第1項の規定に基づきまして、医師、学識経験者、管轄の児童相談所職員、区域内の特別支援学校教員、特別支援学級設置小学校長、市立中学校長、特別支援級の担任並びに教育委員会が必要と認める者の中から選考いたしましたところ、別紙資料の名簿にございます25名の方々が、小田原市就学指導委員会委員として適任と思われまますので、今年度委嘱いたしたく提案するものでございます。なお、25名のうち8名の方は、小田原医師会などの関係団体からご推薦いただいた方々でございます。また、任期につきましては、平成27年7月1日から平成28年6月30日までの1年間となります。よろしく御審議くださいますよう

お願いいたします。

(質 疑)

萩原委員…寺崎副委員長は、今回初めて委員に選ばれたのでしょうか。

教育指導課長…寺崎副院長先生は、委員としては、今回初めてです。これまでは、オブザーバーとして参加いただいた時があります。委員として、小田原医師会からご推薦をいただきまして、委員としてお願いしているところであります。

萩原委員…耳鼻咽喉科の医師が委員に入られて良かったです。就学相談を受ける対象児童には、耳の聞こえが困難なお子様の場合もあります。そういう場合にどなたが耳の聞こえについて理解し助言されるのか気になっていました。専門家からの適切なアドバイスがいただければ保護者も安心することと思います。

和田委員長…専門領域の話は、よくわかりませんね。

吉田委員…新しい委員の方は、少なくないということですか。

教育指導課長…すみません。記載せずに申し訳ございませんでした。9名ほど新しい委員がおります。番号で申しますと1番、8番、9番、10番、11番、13番、19番、20番、25番の9名の方が、今年度新たに、それ以外の方々は、昨年度から継続して、委員をお願いしたいと考えている方になります。

吉田委員…例えば、校長先生が異動されたとかの理由で代わったということでしょうか。

教育指導課長…異動もございますし、役職と言いますか、校長先生方の分担の中で特別支援を担当される校長先生等がいらっしゃいますので、その部分の変更等がございます。

吉田委員…それ以外の方で、心理判定員の先生とかは、前からやっていたらっしゃる先生になるということでしょうか。

教育指導課長…そのとおりでございます。

(その他質疑・意見等なし)

採決…全員賛成により原案のとおり可決

(6) その他

吉田委員…今、出ている議案の中の「就学指導委員会」という名前なのですが、全国的にこの名前は、今、どんなふうに使われていることが多いのでしょうか。

教育指導課長…指導委員会という名前が、ここ近年、就学支援委員会等と名称が、柔らかい「指導」という名称ではないものに代わってきています。神奈川県も変わったかと思いましたが、そのような方向に動いてきつつあります。一つの検討課題であると認識しております。

吉田委員…就学指導委員会の委員と親の力関係とか決定権の問題とか、意向を活かすというあたりで、名前が変わってきていると思います。その辺について小田原市は、検討されているのですか。

教育指導課長…正式な形で動き出しているわけではないのですが、所管の中では、名称については、昨年来、少し、話し合いをしているところです。その就学決定になるところには、当然、保護者の意向が最終的なゴーサインとなったうえで、就学支援を決定しているところです。内容としては、全国的な動き、県の動きに沿っておりますけれど、名称については、委員ご指摘のとおりでございます。

#### (7) 委員長閉会宣言

平成27年7月28日

委員長

署名委員（萩原委員）

署名委員（山口委員）